

図書館 だより Library News

今月の新着本

「ひとがた流し」
北村薫
朝日新聞社
高校からの幼なじみの千波、牧子、美々。千波が不治の病を宣告され、3人はそれぞれの思いや願い、記憶の断片を思い起こす。心をゆさぶる長編小説。
【長岡・葦山図書館所蔵】

「六甲随筆」
陳舜臣 / 朝日新聞社
世界史的視野で“今日”を読み解く珠玉の歴史エッセイ集。「孫子が説いたスパイ戦」「きわめてスマートな賄賂」「十二支に猫がいないわけ」など興味深いエピソードが満載。
【葦山図書館所蔵】

「生ききて、逝くヒント」
高田好胤
阪急コミュニケーションズ
心の品格の差が、人生を地獄にも極楽にも導きます。精神的荒廃に効く「心のことば」。平成10年に亡くなった元薬師寺管長が語った普遍の教えの数々。
【中央図書館所蔵】

「モアイに恋して」
つきようこ / 文・絵
春風社
傷ついた女性を待っていたのは天を見つめる大きな目だった。モアイ像の持つ不思議な力とは？イースター島の新たな魅力をユニークな油絵と言葉で紹介する。
【葦山図書館所蔵】

おすすめの1冊

「三年坂 火の夢」
早瀬乱
講談社
「三年坂で転んでね」そう言って兄は死んだ。火の街を疾走する謎の人力俵夫。「隠された坂」が背負う運命とは？第52回江戸川乱歩賞受賞作。
【中央・長岡・葦山図書館所蔵】

「笑う介護士の極意」
袖山卓也
中央法規
“笑い”は生きる気力を養い、悩みや苦しみを和らげ、ストレスを取り除いてくれる。人を笑いの渦に巻き込み人の心に光を注ぎ続ける...著者が目指す本当の介護とは？【長岡図書館所蔵】

江戸時代の「万延絵図」に描かれた代官役所(左)と現在の葦山役所跡(右)



葦山役所跡の概要

名称	国指定史跡「葦山役所跡」
指定年月日	平成16年9月30日
所在地	伊豆の国市葦山葦山、平山、金谷盲女島
所有者	財団法人「江川文庫」ほか
管理者	伊豆の国市
指定面積	28,867.13㎡
年代	江戸時代～明治時代
見学	重要文化財の主屋及び倉2棟の内部を展示・公開(特別企画で中庭の公開もあり)、土日・祭日はボランティアガイドあり
見学料金	江川邸単独券大人1人300円 史料館セット券大人1人400円 市民は半額
休館日	毎週水曜日と年末年始
問合せ	財団法人「江川文庫」 電話 055 940 2200

三百年の歴史を持つ伊豆の政治拠点
江戸時代に、代々幕府の代官を務めたのが葦山の江川家です。反射炉や品川のお台場を造ったことで有名な江川太郎左衛門英龍(坦庵)は三十六代目でした。
葦山役所跡(通称「江川邸」)には、慶長元年(一五九六)に代官役所が置かれ、駿河(静岡県東部)、伊豆、相模(神奈川県)、甲斐(山梨県)、武蔵(東京と埼玉の一部)の天領(幕府の土地)を江戸時代を通して治めました。
明治元年六月には、治めていた天領が「葦山県」となり、江川邸内に県庁が置かれました。このときの県知事は江川

英の子どもの江川英武でした。明治四年十一月には、廃藩置県によって、相模と伊豆が一つになった「足柄県」が成立し、江川邸に支庁が置かれました。続く明治九年四月には、伊豆が足柄県から分離して静岡県に編入され、明治十二年まで静岡県の支庁が江川邸に置かれていました。
このように、江川邸は江戸時代から明治時代まで、関東を含む広大な地域やこの地域の政治の拠点としての役所が置かれていたところです。江川邸には現在でも江戸時代から大正時代にかけての主屋、蔵などが立ち並び、十五棟が国の重要文化財(建造物)に指定されています。
史跡「葦山役所跡」は、こ

ご利用ください インターネット検索・予約

11月1日(水)からインターネットで本と視聴覚資料(CD、カセットテープ、ビデオテープ、DVD)の予約ができるようになりました。このシステムを利用する場合は、パスワードが必要ですので、各図書館窓口でお申し込みください。自分の貸し出し・予約状況も確認できます。
資料の検索には、パスワードは必要ありません。
予約した資料が用意できたときの連絡方法は、電話またはメール(アドレスの申請が必要)のどちらかを選択できます。
申請 随時、各図書館窓口で受け付け
持ち物 図書館利用者カード、身分証明書(自動車運転免許証等)
ホームページアドレス <http://www.izunokuni.library-town.com>

10月3日から、市内3図書館を結ぶ新システムがスタートしました。これにより、利用者カードも新しくなり、1枚で市内3館が利用できるように、また、借りた資料は市内どの図書館でも返却できるようになりました。利用者カードの発行、旧図書カードからの交換は、各図書館で行っています。皆様のご利用お待ちしております。

問合せ

【中央図書館】電話 0558 76 5566
休館日 11月3日(金)・6日(月)・13日(月)・20日(月)・23日(木)・24日(金)・27日(月)

【長岡図書館】電話 055 947 2364
休館日 11月3日(金)・23日(木)・24日(金)

【葦山図書館】電話 055 949 8605
休館日 11月4日(土)・6日(月)・13日(月)・14日(火)・20日(月)・23日(木)・24日(金)・27日(月)

教育委員会は、「大仁町史」の編さん事業を行っています。現在は、平成二十年度刊行予定の『資料編中巻・近世』に関する資料を中心に、編さん委員及び協力員によって調査が進められています。
このうち古文書については、旧大仁町内の各区や、旧家に残されている古文書類を借用して、分類、撮影、目録作成作業を行っています。
古文書調査では、吉田の原家から文禄三年(一五九四)に実施された「太閤検地」と呼ばれる検地帳が確認された



古文書調査のようす

古文書と石造物の調査進行中!
大仁町史編さん事業



石造物調査のようす

の建物群の立ち並ぶ地域を含むさらに広大な地域が役所の役割を担った地域として、建造物の重要文化財と重ねて指定されています。
り、宗光寺の矢田家からは田中村の山林を描いた「田中山御林絵図」が発見されました。また、石造物については、該当地区の区長さんに協力をお願いながら、分布調査を行い、現地での実測、撮影作業を行っています。この調査で、三福の龍源院にて、この地域では珍しい「筆子塚」が発見されました。また、神島では慶長十二年(一六〇七)の「一石五輪塔」が確認されるなど、新発見が続いています。
町史編さんには、多くの資料が必要となりますので、大仁地区の皆さんで、古文書をお持ちの人や、石造物の所在についてご存知の人は、社会教育課までご連絡下さい。